

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～18℃台を示し、やや低めから平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の29%（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり30トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり24kgの水揚げで前週の65%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.7kgの水揚げで、前週の18%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり152kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり115kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり837kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが1日当たり111kgの水揚げで、前週の57%（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/30～2/4の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、時化の為、各地入港。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬、恵曇、境港、酒田で水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）1日延2隻、総計99箱、1航海最高52箱、平均49.5箱、スルメイカ（20～30入）78箱、ヤリイカ21箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>